

▶ 片山楊谷絵図



現在に残る神仏習合の事例について
松江市の枕木山にある華蔵寺は、平安時代創建の縁起を持つ天台宗（現在は臨

陀堂の横には三宝荒神、大智明大権現社の横には、弁財天と山王社と書かれた小さな建物が、それらに付随するように描かれています。このことから、堂社と同じ敷地に小さな社があったことが分かります。また、現在残る古民家でも、敷地の一角に荒神や屋敷神を祀る祠が建てられている例があります。今回検出した方形石組み遺構は、このような建物の基礎の可能性も考えられます。



◀ 華蔵寺境内の祠

済宗)の山岳寺院でした。本堂となる薬師堂の裏手には、今もひっそりと鎮守社として三社神社と呼ばれる小さな祠が祀られています。この祠の基礎にも石組みの基壇が使われています。

大山寺の方形石組み遺構の性格は現段階では断定できませんが、その中心建物との位置関係から、このような性格のものであった可能性もあります。神仏習合の寺院である大山寺としては、そう考えるほうがしっくりくるように思います。皆さんは、どのような思われますか？

(社会教育課文化財調査班)

第2回 大山学講座のお知らせ

「大山の自然」～自然観察会～

毎年好評の自然観察会。今回は下山キャンプ場周辺を散策しながら、自然に恵まれた大山の珍しい植物などを観察します。

また、昨年8月に落慶法要が営まれた圓流院にも参拝します。

解説者 大山自然観察会指導員 鷲見寛幸氏

日時 6月19日(土) 9時～12時

集合場所 下山キャンプ場駐車場(9時集合)

バスで名和公民館から送迎します。(8時30分発)

参加費 お一人200円

申込締切 6月11日(金)【定員25名】定員になり次第締め切ります

その他 ①少雨決行(中止の場合はご連絡いたします)

②当日は山歩きができる服装でお越しください

申込・お問い合わせ先 大山公民館(電話) 0859-53-3003

